

2026 年度シラバス

科目分類/Subject Categories			
学部等/Faculty	/工芸科学部/工芸科学部 : /School of Science and Technology/School of Science and Technology	今年度開講/Availability	/有/有 : /Available/Available
学域等/Field	/全学共通科目/全学共通科目 : /Program-wide Subjects/Program-wide Subjects	年次/Year	/1年次/1年次 : /1st Year/1st Year
課程等/Program	/基盤教養科目/人間教養科目(2023年度以前入学者) : /Liberal Arts/Liberal Arts(Course for students enrolled before 2023 academic year)	学期/Semester	/前学期/前学期 : /First term/First term
分類/Category	//基本教養 : //Foundations in Liberal Arts	曜日時限/Day & Period	/月5 : /Mon.5

科目情報/Course Information				
時間割番号 /Timetable Number	10111508			
科目番号 /Course Number	10160152			
単位数/Credits	2			
授業形態 /Course Type	講義 : Lecture			
クラス/Class				
授業科目名 /Course Title	現代社会とジェンダー : Gender in Modern Society			
担当教員名 / Instructor(s)	/(滝本 知加)/他 : TAKIMOTO Chika/etc./			
その他/Other	インターンシップ実施科目 Internship	国際科学技術コース提供科目 IGP	PBL 実施科目 Project Based Learning	DX 活用科目 ICT Usage in Learning
	実務経験のある教員による科目 Practical Teacher	○	講義中、1回ゲストスピーカーを招いて「ダイバーシティ最前線ーLGBTってなに?ー」というテーマで講義いただく。講師は吉川ヒロ (tomoni.共同代表) 氏を予定している。担当教員の一人は、学校教育現場での教員実務経験がある。	
科目ナンバリング /Numbering Code				

授業の目的・概要 Objectives and Outline of the Course	
日	本講義は、「ジェンダー」をテーマとしながらも、広く社会における公平・公正 (Fairness) について考えることを目標としています。内容構成の柱は、大きく3つに分けられます。一つは、歴史をジェンダーの視点から捉え直すこと。二つ目は制度・政策におけるジェンダーバイアスについて。三つ目は、言語や文学、心理学、教育などにジェンダーがどのような影響を与えているか。ということです。 オムニバス形式で実施する授業であり、各分野の教員による講義で全体が構成されています。社会科学や人文科学だけではなく、自然科学系の受講者
英	

学習の到達目標 Learning Objectives	
日	
英	

学習目標の達成度の評価基準 / Fulfillment of Course Goals (JABEE 関連科目のみ)	
日	
英	

授業計画項目 Course Plan			
No.		項目 Topics	内容 Content
1	日 英	第1回	ガイダンス 小沢 修司 (教養教育センター) (オンデマンド)
2	日 英	第2回	社会保障制度とジェンダー① 社会保障制度が前提とする特定の働き方と家族のあり方とは 小沢 修司 (教養教育センター)
3	日 英	第3回	社会保障制度とジェンダー② 社会保障制度の機能不全とベーシック・インカムの衝撃 小沢 修司 (教養教育センター)
4	日 英	第4回	学校におけるジェンダー 瀧本知加 (社会科学部)
5	日 英	第5回	平安文学に見るジェンダー初級編：キャリア形成 大塚 誠也(文学部)
6	日 英	第6回	平安文学に見るジェンダー中級編：文芸活動 大塚 誠也(文学部)
7	日 英	第7回	「脳」の性差はあるのか？ーげっ歯類の研究から見えてきたこと① 山田 俊児 (京都府立医科大学)
8	日 英	第8回	「脳」の性差はあるのか？ーげっ歯類の研究から見えてきたこと② 山田 俊児 (京都府立医科大学)
9	日 英	第9回	民主主義とジェンダー 1：代表とは何か 玉井 亮子 (社会科学部)
10	日 英	第10回	民主主義とジェンダー 2：あなたの「働き方」を考える～とある自治体のケースから 玉井 亮子 (社会科学部)
11	日 英	第11回	近現代小説 (英国・日本) を通してジェンダーの問題を考える 吉田 朱美(文学部)
12	日 英	第12回	ヴィクトリア朝「家庭の天使」から現代の広告まで、視覚表象を通してジェンダーの問題を考える 吉田 朱美(文学部)
13	日 英	第13回	ダイバーシティの最前線 ゲストスピーカー、小沢 修司 (教養教育センター)
14	日 英	第14回	教育におけるジェンダーの影響 瀧本知加 (社会科学部) ※オンデマンド
15	日 英	第15回	最終討論会 全教員

履修条件 Prerequisite(s)	
日	とくになし
英	

授業時間外学習 (予習・復習等) Required study time, Preparation and review	
日	<p>コロナ禍のなかで、世界中で関心が高まったベーシック・インカム (すべての個人への無条件所得保障構想) について情報収集することをお勧めします。(小沢)</p> <p>岡野八代『ケアの理論ーフェミニズムの政治思想』岩波新書、2024年。</p> <p>矢口裕人『なぜ東大は男だらけなのか』集英社新書、2024年。</p> <p>(瀧本)</p>

	本講義に対しては、67.5 時間の予復習に充てる自己学習時間が必要である。
英	

教科書／参考書 Textbooks/Reference Books	
日	講義中に指示する
英	

成績評価の方法及び基準 Grading Policy	
日	レポートによる（詳細は講義の中で指示する）
英	

留意事項等 Point to consider	
日	講義の資料配布、アンケートレポートの提出で三大学教養教育共同 Moodle」を使用するので、受講希望者は「ログインアカウント」を取得しておいてください。
英	